

## ■11 群 (社会情報システム)

# 7 編 金融情報システム

Financial Information System

(執筆者：岩下直行) [2009年3月 受領]

## ■概要■

金融とは、家計に代表される資金余剰主体から、企業に代表される資金不足主体へ、資金を融通することをいう。銀行、証券会社、保険会社、貸金業者など、金融を業として行う企業や組織のことを、金融機関と呼ぶ。こうした金融機関が相互に連携し、法律や規制などの制度的枠組みを基盤として金融取引を行う仕組み全体のことを、金融システムと呼ぶ。金融システムという言葉は新聞などでよく使用されるが、社会制度的な意味合いで用いられることが多く、情報通信システムのニュアンスが含まれることはない。

これに対し、金融機関及びその関連組織が開発し、あるいは利用している、金融取引を行うための各種の情報通信システムのことを、金融情報システムと呼ぶ。金融情報システムは、金融システムを支えるものといえる。本編は、この金融情報システムについて、情報技術の観点から述べるものである。

金融情報システムは金融制度や利用形態によって様々に分類が可能であり、多種多様な個別システムから構成されている。しかし、情報技術的な観点からは、それら個別システム間の違いはさほど大きくはないため、本編では、各々の個別システムに関する詳しい解説は行わない。その代わりに、金融機関が金融情報システムを運営するうえで特に重要となる情報セキュリティ対策に焦点を当て、金融取引の安全性を確保するための様々な情報セキュリティ技術の現状と、それらがどのように金融情報システムに利用されているかについて詳しく述べることとする。

## 【本編の構成】

本編では、金融情報システムの概要 (1 章) について整理した後、金融情報システムに利用される情報セキュリティ技術として、暗号技術 (2 章)、IC カード (4 章, 5 章)、バイオメトリクス認証 (6 章) について、金融業界からみた現状と課題について述べる。また、これらの情報セキュリティ技術を利用した新しい金融業務の典型例として、インターネット・バンキング (3 章) と電子マネー (7 章) について取上げ、そのなかで情報セキュリティ技術がどのように利用されているかについて述べる。最後に、金融情報技術の国際標準化 (8 章) に関して述べる。

## 【7 編 知識ベース委員会】

編主任： 岩下直行 (日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター)

執筆委員： 宇根正志 (日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター)

田村裕子 (日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター)

鈴木雅貴 (日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター)